

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	笑いを提供し、元気な地域づくりに寄与する事業
事業主体 (連絡先)	まつかわ落語会「風まんだら」 会長 太田幸一
事業区分	(1)③ 教育・文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,292,959円 (うち支援金: 913,000円)

事業内容

- 1 古今亭菊生・柳家圭花・笑組を呼んで松川落語会を開催した。
- 2 田楽座に講師を依頼し、花笠踊りと南京玉すだれの公開講座を開催した。
- 3 被災地の皆さんを元気づけるための落語会を王滝村と白馬村堀之内地区で開催した。
- 4 各地区からの要請に応じて出前寄席を実施した。
- 5 古今亭菊生師匠を講師としての公開講座、落語教室を開催した。
- 6 小学校の放課後プランを応援して継続体験講座落語を実施した。
- 7 会員の発表会「まんざら寄席」実施。



【 】

【目標・ねらい】

①出前寄席を通して、笑いを提供し、年代や考えの違いを超えた「輪」と「和」を育てたい。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- 1 まつかわ落語会には松川村や大町市などから 200名を超える方が訪れ、落語会を楽しんでくれた。(別紙)
- 2 花笠踊りには30名上、玉すだれには20名近くの方が応募参加し、発表会にも参加して頂いた。
- 3 王滝村では落語会と懇談会を実施、白馬村では被災したペンションでの食事会などもした。
- 4 松本市や安曇野市を含む地区からの出前を50回実施でき好評であった。
- 5 落語教室には9名の方が応募し、落語に挑戦した。
- 6 6月～3月まで20回実施し、発表会まで参加した。

※自己評価 【 A 】

【理由】
計画した内容が実施でき、多くの参加者からも賛同や励ましの声をいただいた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- 1 松川落語会の開催には資金があるので、県や村にもお願いしながら実施継続の努力をする。
- 2 会員になってもらうとか、出演協力を呼び掛けて幅広い活動を目指す。
- 3 今後も要請があれば出かけての出前寄席を続ける。
- 4 大勢の方が「まんざら寄席」を毎年楽しみにしていただいているので継続したい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある